

CONNECT

コネクト

下関市教育委員会 生涯学習課
社会教育主事だより No.2
令和7年8月12日



暑いが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は記録が残る中で最高の気温を記録したところも多いようです。体調管理に十分気を付けて、熱中症対策を心掛けながら、楽しい夏を過ごしたいですね。

市民の皆様が「つながり」ながらわくわく楽しく学んでいる姿をお伝えする「コネクト」。今回は“子供”にフォーカスした話題をお伝えします。

公民館を見学！～吉見小学校 2年生～

6月10日、吉見小学校の2年生が、生活科の学習の一環で吉見公民館を見学に訪れました。講堂、講座室（和室）、料理教室や図書室を見学した子供たちは、「すごい！」「こんなこともできるんだ！」と驚きの声を上げていました。和服の着付けを学ぶ活動をしている団体の方に、興味津々に質問する姿も見られました。公民館は地域住民がつどい、まなび、そして住民どうしをむすぶ場所であること、災害時は地域住民の避難所になることなどについて館長より説明があり、子供たちは真剣にメモをとっていました。「公民館にたくさん行ってみたい！」小学生からはそのような声がたくさん聞かれました。



下関母のつどい大会



6月14日、シーモールパレスで下関母のつどい大会が開かれました。心身ともに健やかな子供の成長を願い、ネットワークを生かしたいいきいきとした地域活動の展開をめざして行われているものです。当日は、市連合婦人会やPTAの会員が一堂に会す、年に一度の機会です。



今年度は久しぶりに、講演をワークショップ形式としました。子育て真っ最中の方、子育てを終えた方が1グループとなり、子育ての経験や子育てに対する思いを語り合いました。どのグループも話が尽きず、出席者からは、「今の親がどんな気持ちで子育てしているのか、肌で感じる事ができた。」「我が子について不安に思うことが多いが、子育ての先輩の話を聞いて少し心が軽くなった。」「子育ては“親育て”であるという言葉聞き、子供と向き合うことを通して自分自身も高めていきたいと強く感じた。」などの声が聞かれました。

わくわく科楽教室～第1回・第2回を開催～

生涯学習課では毎年、理科や科学が好きな人材の育成をめざして、『わくわく科楽教室』を年5回開催しています。本年度も第1回を6月28日に、第2回を7月26日にそれぞれ開催しました。

第1回 植物をフロッタージュ

1回目は美術館を会場に、「芸術」から科学を見つめました。採取した葉を、様々な画材を用いて「フロッタージュ（こすり出し）」しました。鉛筆の硬さや画材の違いによって葉の浮き出方が違うことに気付き、参加者の皆さんは夢中になってこすり出していました。最後はこすり出したものを集めて、自分だけの標本にしました。芸術の中に隠れている科学に触れることができた2時間でした。



第2回 空気と空気の流れ

2回目は目に見えない「空気」の科学です。空気には重さや流れがあることを学んだあと、空気砲を実際に作って、空気の流れを体感しました。穴の大きさや位置、数などを変えながら、どんな空気のリングができるか試していました。皆さんも、ダンボールと線香があれば簡単に空気砲ができますので、ぜひ試してみてくださいね。



わくわく科楽教室、次回は8月30日につのしま自然館で実施します。定員まで残りわずかです。申し込み・詳細は二次元コードからアクセス！



放課後子ども教室も活発です！

公民館でも学びがたくさん！

夏休みに入り、公民館でも親子を対象にした講座がたくさん実施されています。

長府東公民館の「ふぐちょうちん作り」。風船に半紙を貼り、色付けしていきます。一筆一筆丁寧に塗っていく皆さんの眼差しが印象的でした。



王司公民館で行われていたのは「サンドアート」。貝殻や砂を敷き詰めたり、乾くと透明になる絵の具を使ったりして、自分だけの素敵なサンドアートを作っていました。



公民館では、楽しく学べるすてきな講座が、年間を通してたくさん開催されています。詳しくはお近くの公民館までお問い合わせください！

木屋川の支流・稲見川で活動していたのは、西市小放課後子ども教室の皆さん。多くの地域の方々に見守られ、教えてもらいながら、小魚やホタルの餌となるカワニナを採取していました。カワニナはきれいな川に生息します。ホタルと人間が共生できているのは、美しい川を地域全体で大切にしているからです。この経験を通して子供たち一人ひとりがふるさとや自然に対して何かしら感じ取ってもらえたらと、地域の方々は話しておられました。水辺の観察後は、放課後子ども教室で育てたすいかを、皆さん笑顔で頬張っていました。

